

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年6月28日

岡崎市長様

届出者 三菱自動車工業株式会社
住所 愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地

氏名 岡崎製作所長 西山 能弘

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0564-31-3100

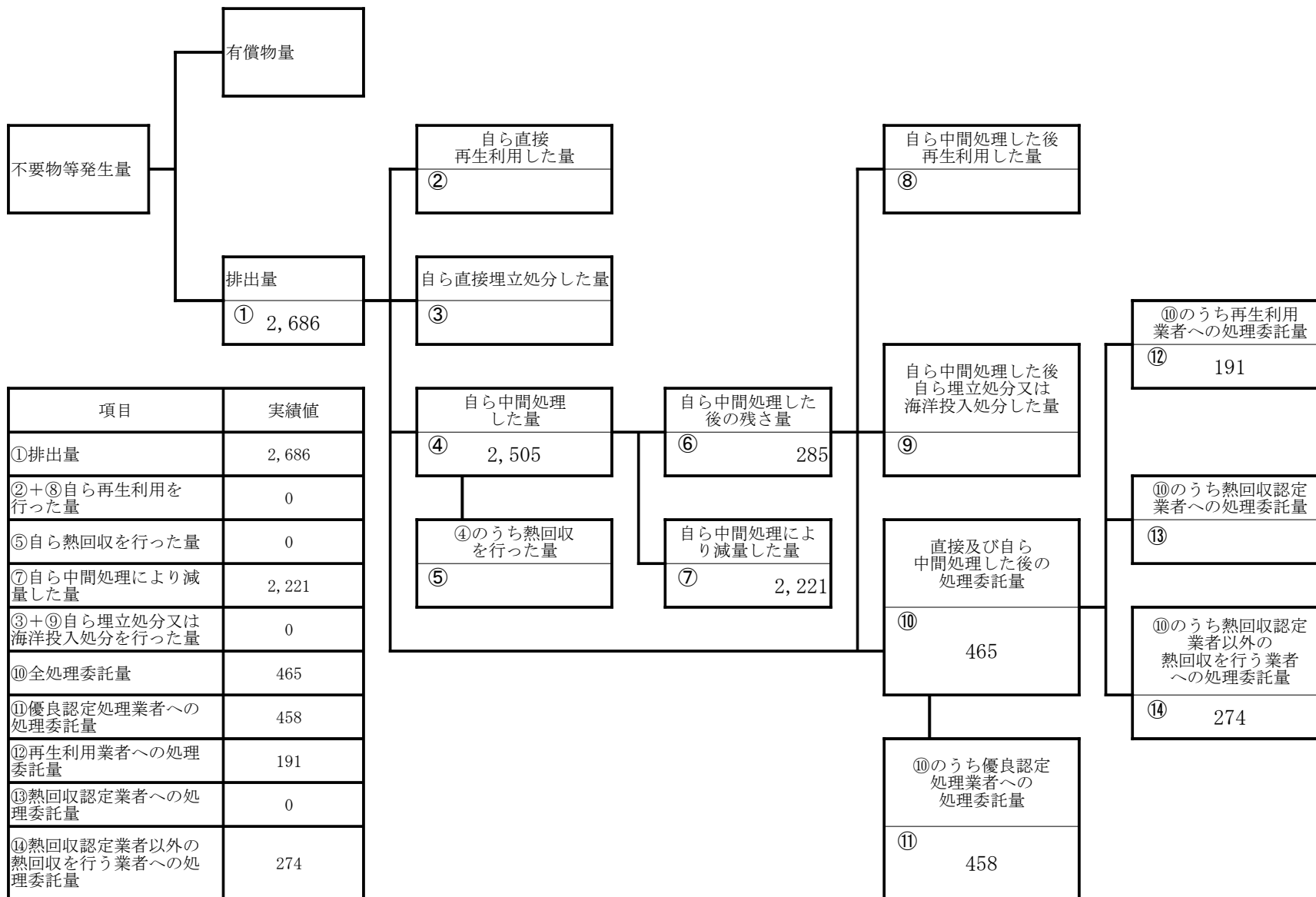
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三菱自動車工業株式会社 岡崎製作所		
事業場の所在地	愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地		
事業の種類	輸送用機械器具製造業(31)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,250 t	全処理委託量	1,681 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,392 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	760 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	360 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	499 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

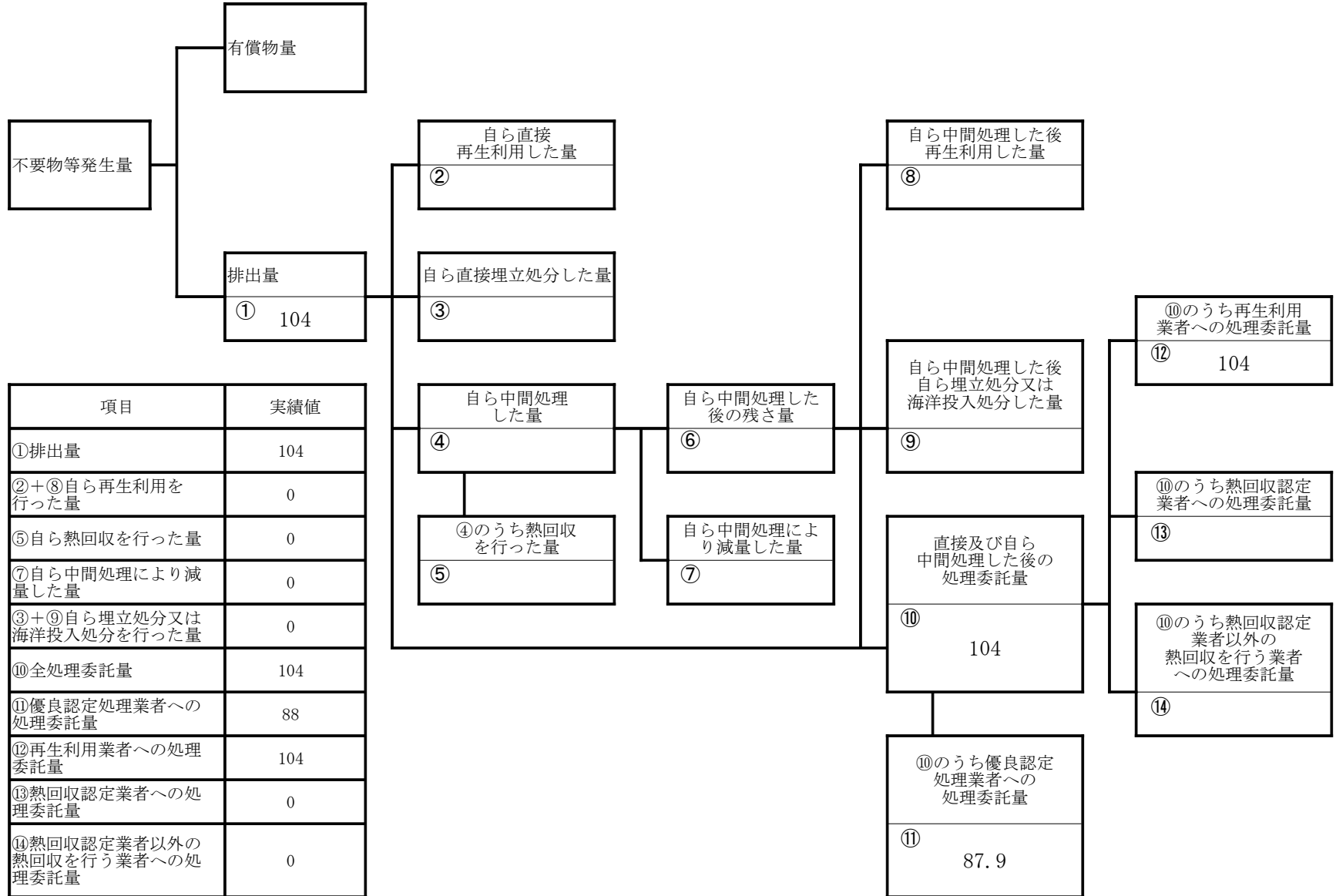
(産業廃棄物の種類：汚泥)



項目	実績値
①排出量	2,686
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	2,221
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	465
⑪優良認定処理業者への処理委託量	458
⑫再生利用業者への処理委託量	191
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	274

計画の実施状況

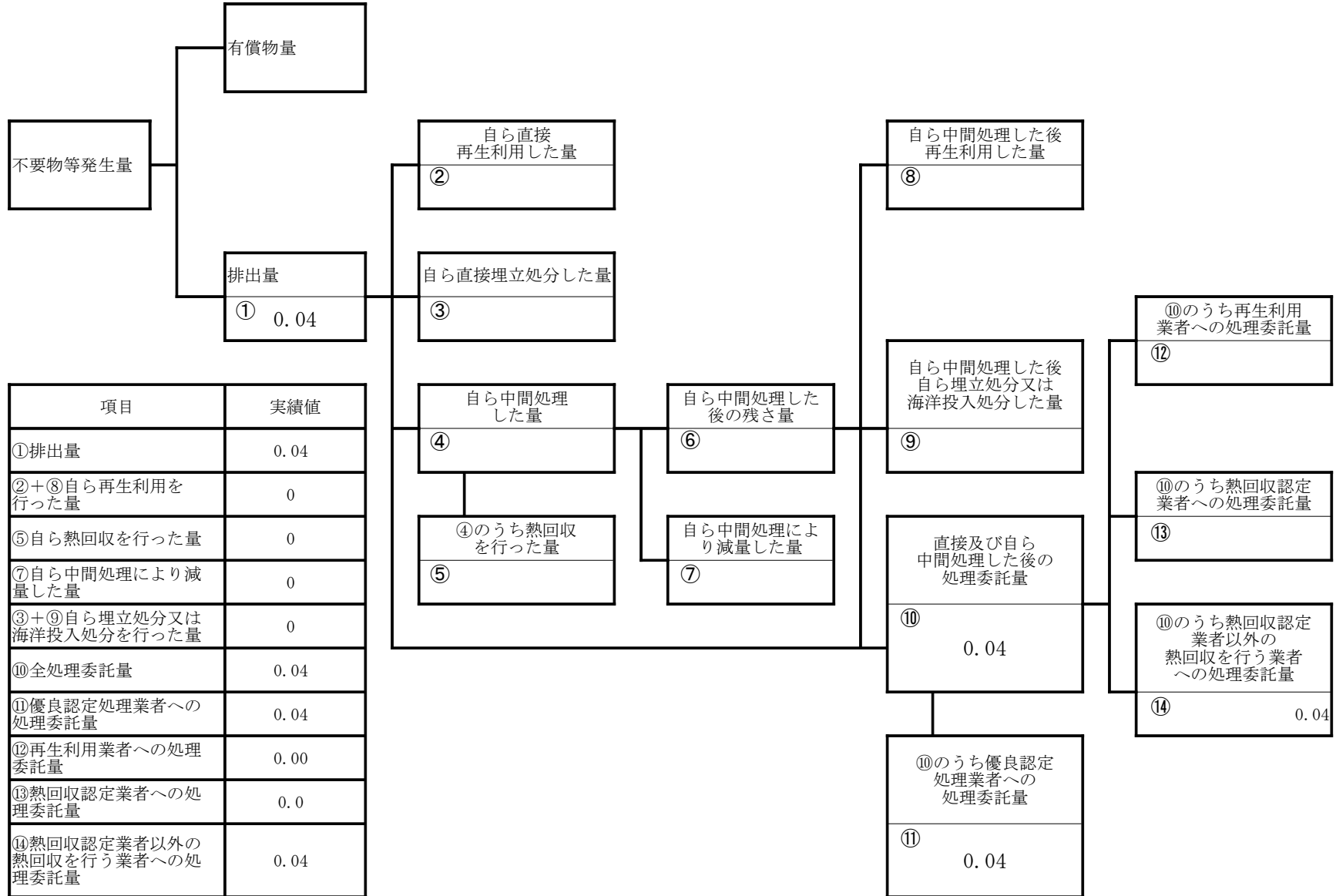
(産業廃棄物の種類：廃油)



項目	実績値
①排出量	104
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	104
⑪優良認定処理業者への処理委託量	88
⑫再生利用業者への処理委託量	104
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

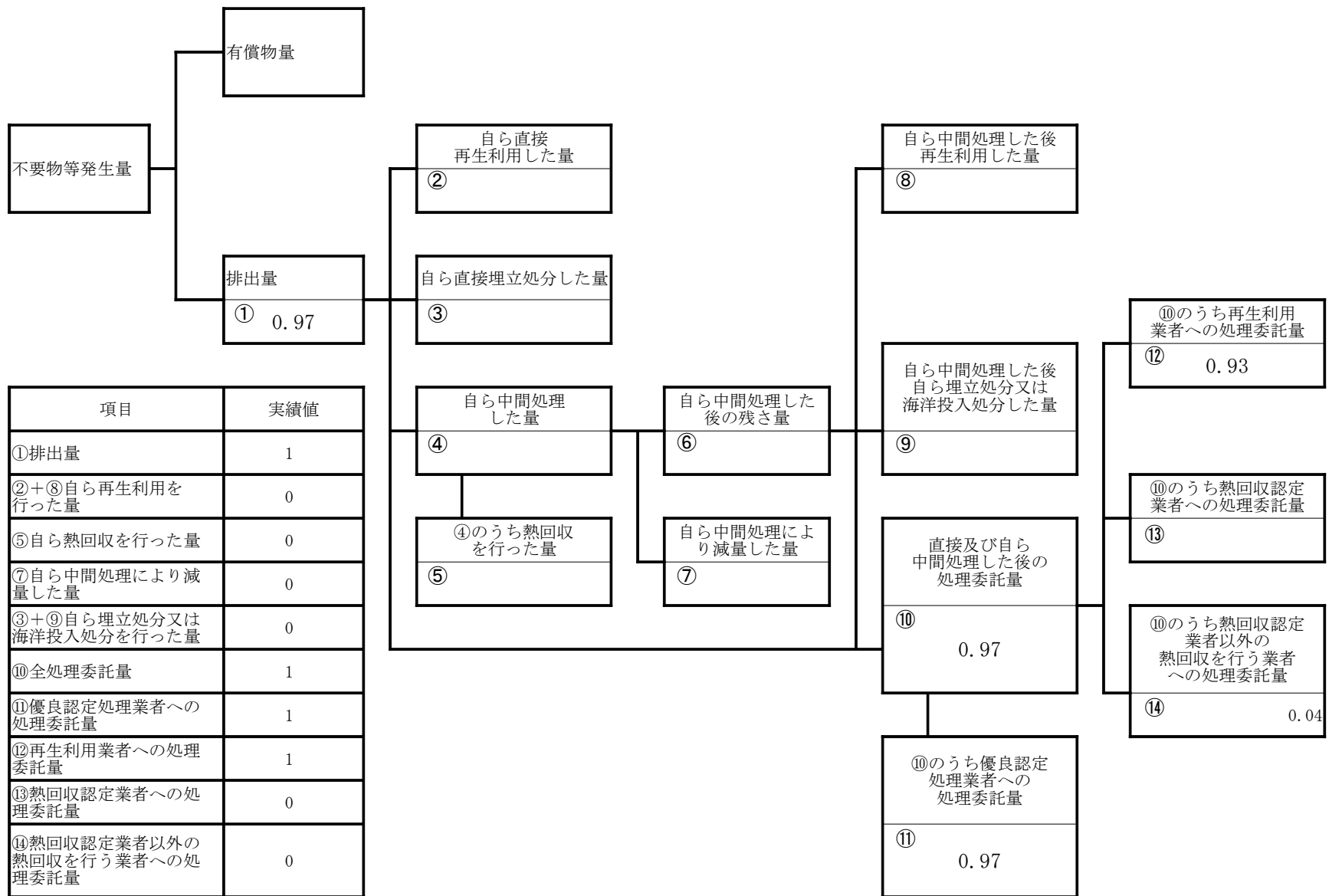
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃酸)



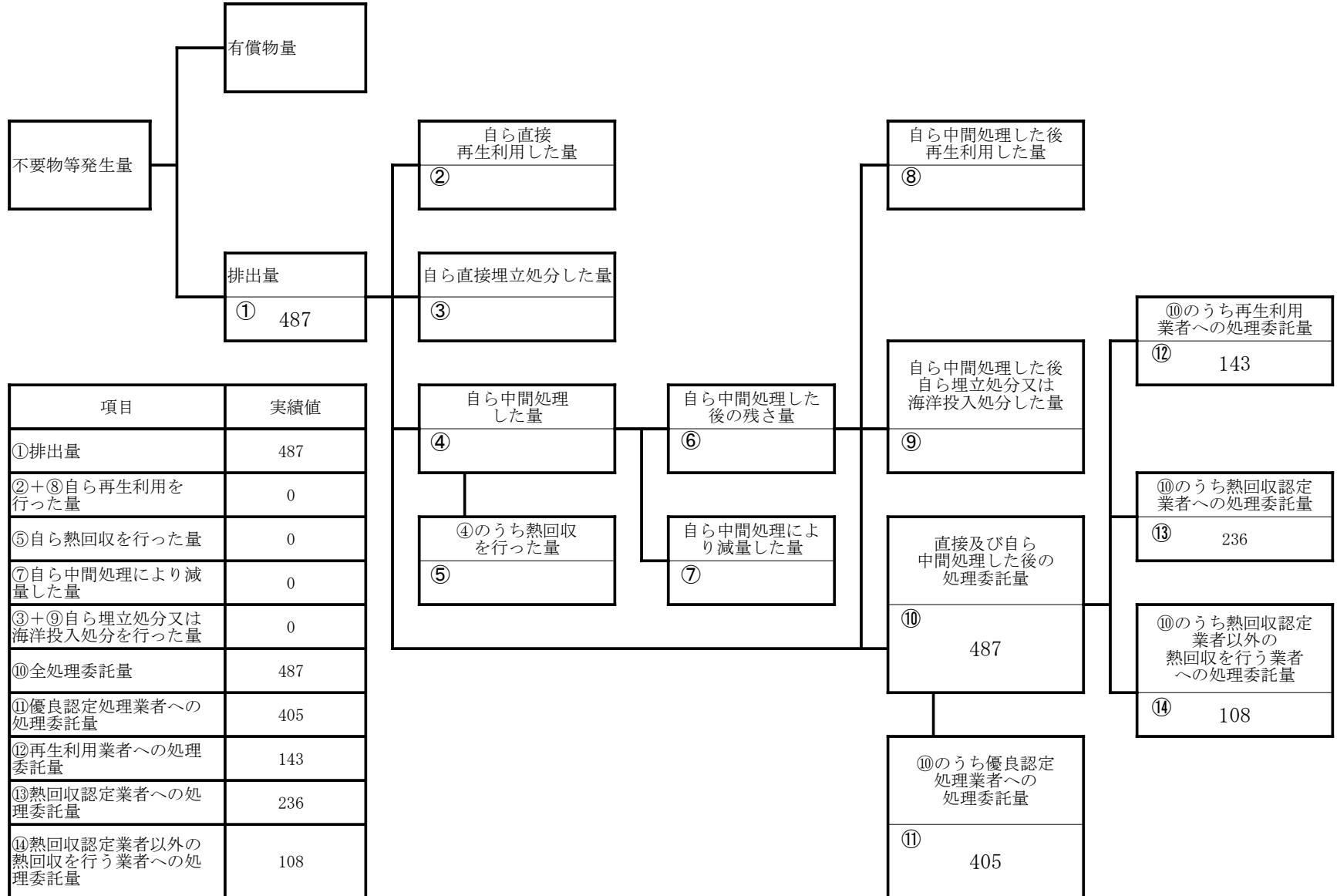
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



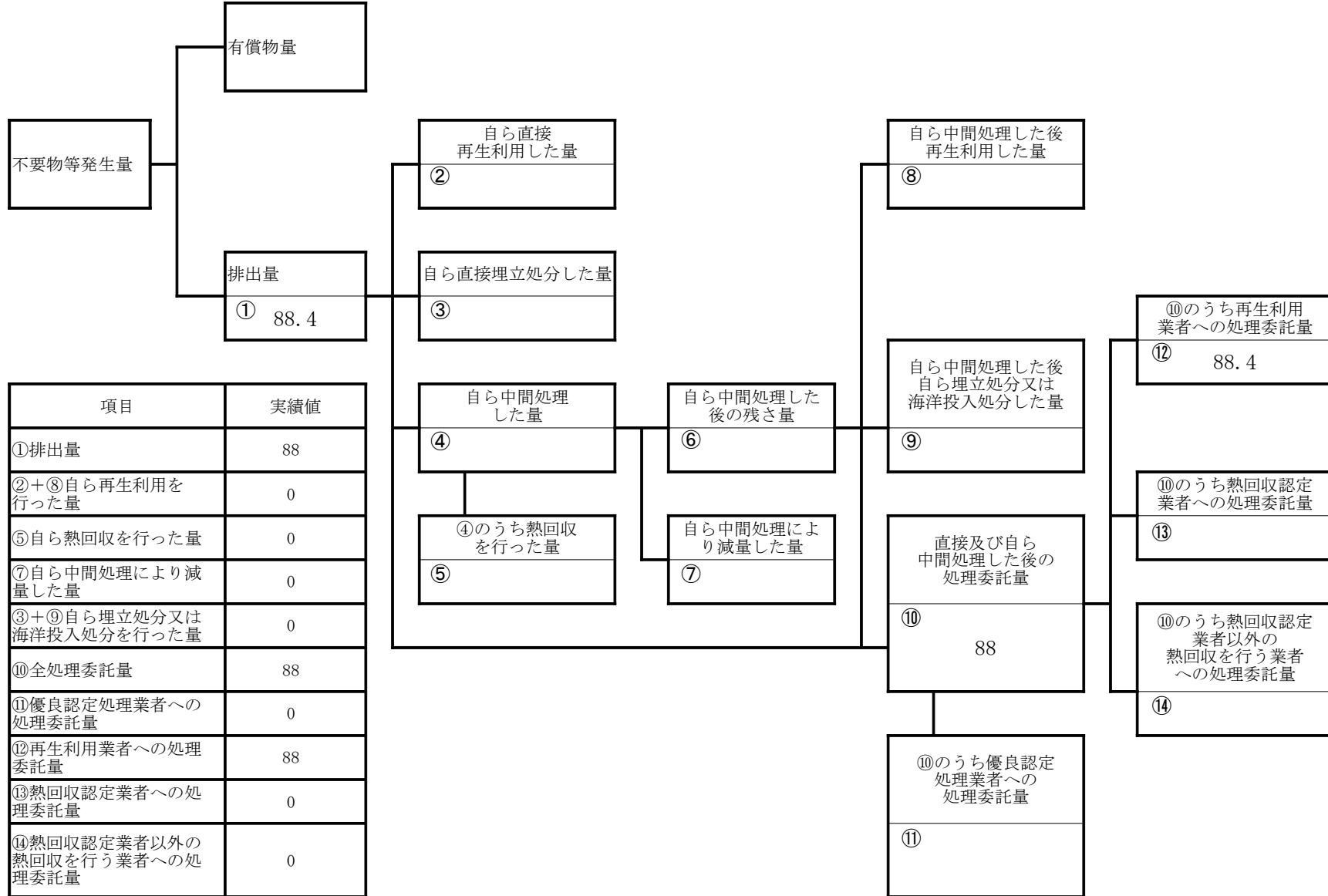
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



計画の実施状況

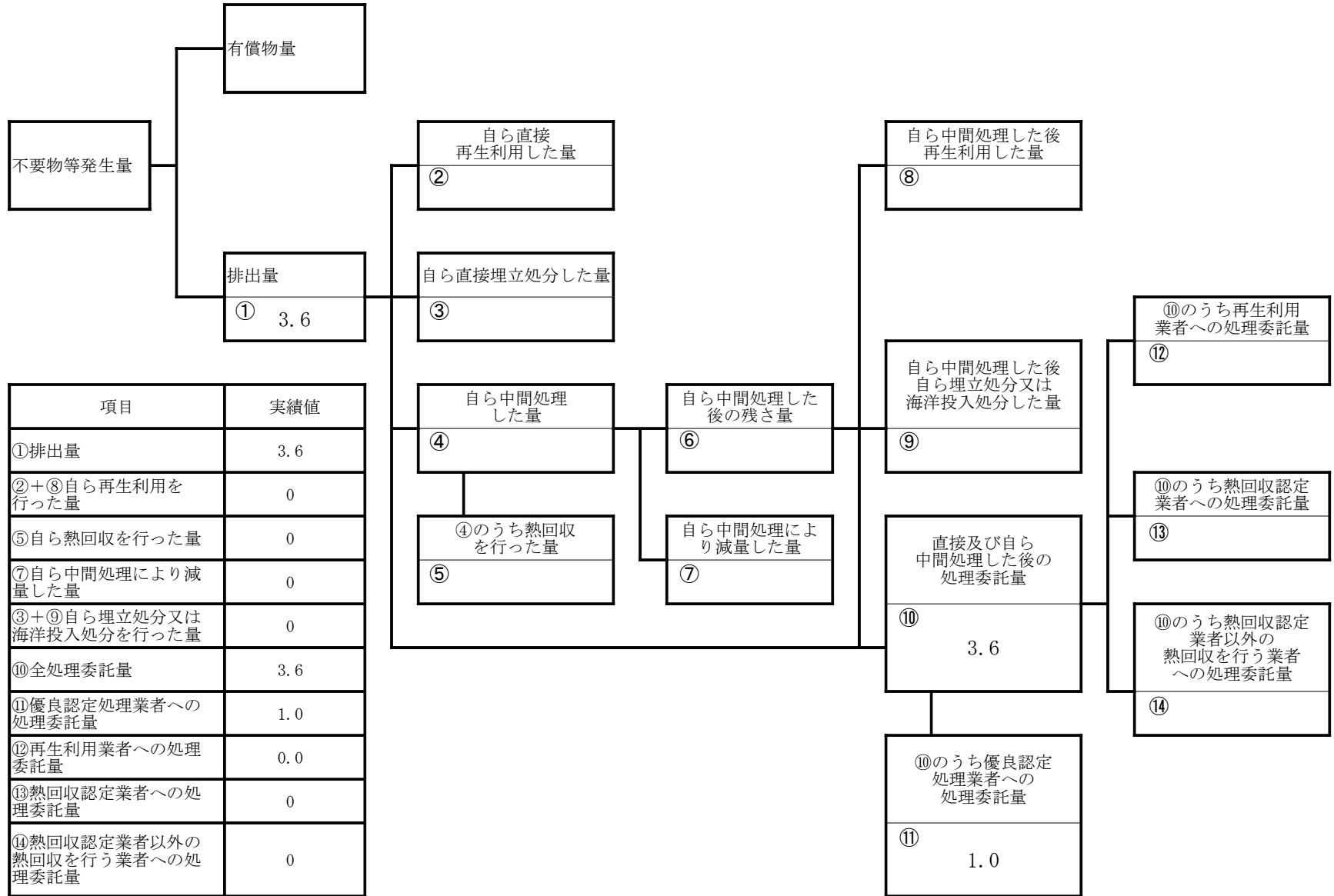
(産業廃棄物の種類：木くず)



項目	実績値
①排出量	88
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	88
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	88
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

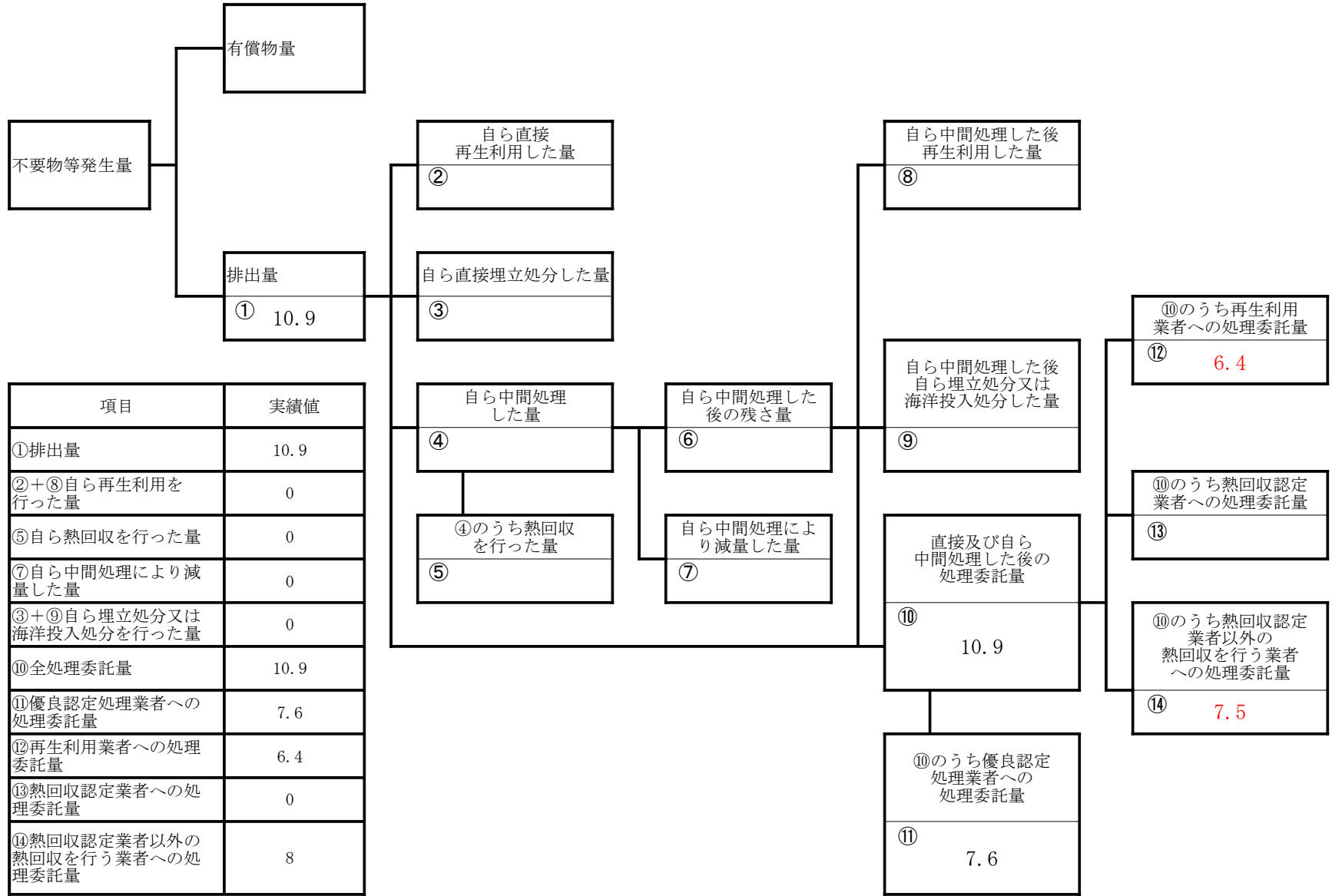
(産業廃棄物の種類：ガラス及び陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	3.6
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

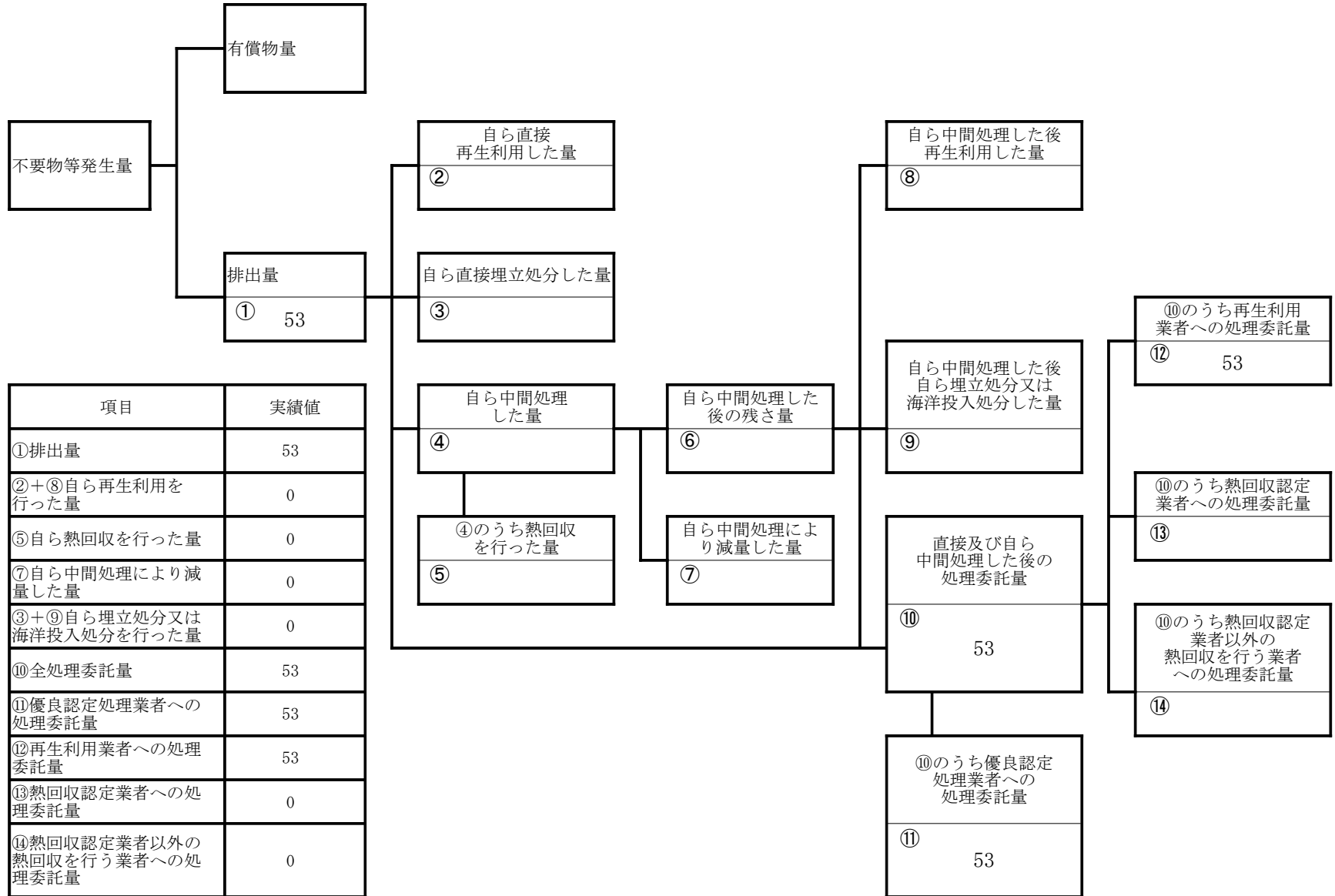
(産業廃棄物の種類：金属くず)



項目	実績値
①排出量	10.9
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	10.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.6
⑫再生利用業者への処理委託量	6.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	8

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載し入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添